

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	陸上長距離選手における接地パターンとランニング障害の関係に関する研究
倫理審査委員会承認番号	2022-021
研究開始日	2022年7月21日
研究終了日	2024年3月31日
研究目的	近年、ランニングにおける接地パターン（後足部接地、非後足部接地）は、競技レベルとの関係から注目を集めています。しかし、ランニングによっておこる怪我（ランニング障害）との関係は明らかになっていません。ランニング障害を予防することは、トレーニングを継続して行い、より高い競技レベルに到達するために必要不可欠です。本研究では、接地パターンとランニング障害の発生について追跡調査を行うことでその関係を明らかにすることを目的とします。
研究対象者	日常的にトレーニングを行っている高校生および大学生の陸上競技長距離選手
研究概要	日常的にトレーニングを行っている高校生および大学生の陸上競技長距離選手を対象に、定期的にランニング障害の発生状況およびトレーニングの実施状況についてのアンケート調査とトレーニング時の映像の撮影を行います。アンケートへの回答にかかる時間は10分程度です。映像撮影は通常のトレーニングの際に行い、新たに負荷を課すことはありません。撮影した映像から接地パターンを分類し、アンケートへの回答内容とあわせて、接地パターンとランニング障害発生関係についての分析を行います。質問紙への回答および映像撮影は3か月に1回程度、1年間継続して実施します。
研究に用いる情報の種類	氏名、身長、体重、年齢（学年）、競技歴（年数）、専門種目とその自己記録、トレーニング実施状況、ランニング障害の発生状況および既往歴、トレーニング時の映像
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	○本研究の資金源は、JISS内予算です。
研究責任者	後藤晴彦（スポーツ科学・研究部）
研究分担者	鳥居俊（早稲田大学スポーツ科学学術院） 黒澤亮介（岐阜県スポーツ科学センター） 槇尾栞（岐阜県スポーツ科学センター） 西谷和也（フリーランス）
問合せ先	後藤晴彦 スポーツ科学・研究部 電話：03-5963-0231 E-mail:haruhiko.goto@jpnssport.go.jp